

# R2年度 自己評価結果（保育教諭）

市野与進こども園 自己評価

名前

保育教諭全体

【目的】 自己評価と多面評価を織り込む中で、保育の質の向上を目指す

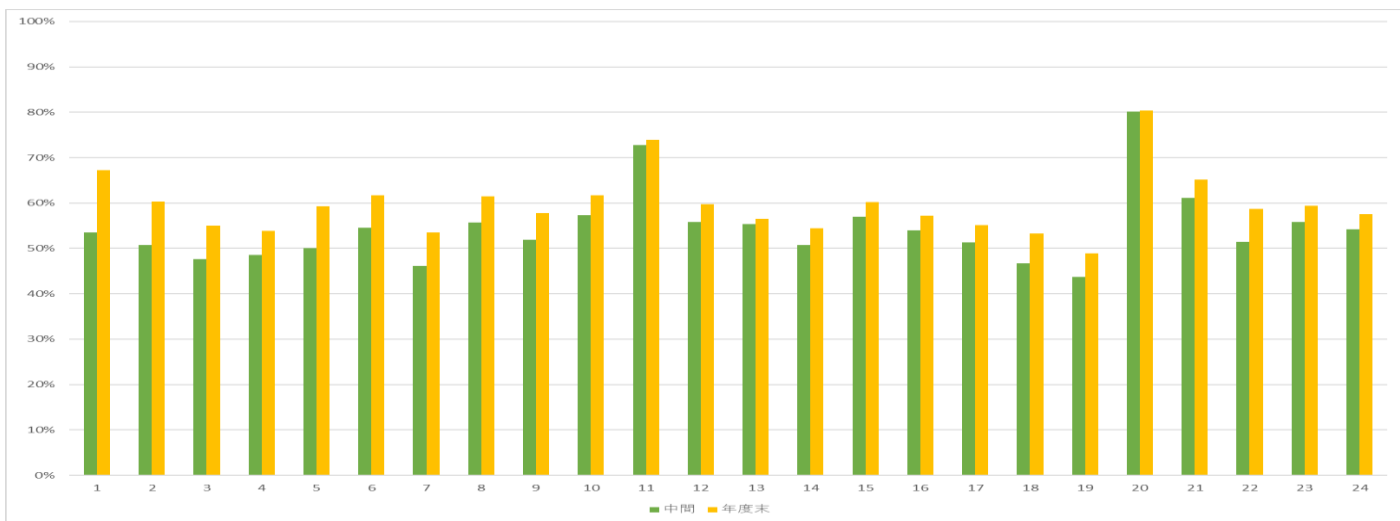
【園目標】 「子どもにやる気を起こさせる」教育・保育環境を用意し、「生きる力」の基礎を育てる

※「安全への配慮」「人権の尊重」「子どもの発達理解」「子ども中心」は、保育者の持つ基本的な心持ととらえ、質の高い保育はこの上に成り立つと考える

中間 年度末

<p>市野与進こども園 保育教諭像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開かれたこども園づくりに意識している人</li> <li>・保護者支援に積極的に関われる人</li> <li>・園の情報・個人情報について理解できている人</li> <li>・研修、研究がしっかりと保育の中に活かせる人</li> <li>・保健安全指導が大切なことを理解できている人</li> <li>・食育の必要性が理解できる人</li> <li>・行事に対して園の役割、保育の役割が理解できる人</li> <li>・子どもの健康を管理できる人</li> <li>・保育について子ども目線に立って理解できる人</li> </ul>	
<p>こども園の目指す教育保育</p> <p>人としての育ちとは</p> <p>① 人との関わり ② 自分の思いを言葉にする ③ 集団生活や遊びのルールを守る ④ 相手を思う気持ちを育てる ⑤ 基本的な生活習慣の確立</p> <p>「生きる力」の基礎を育てる</p> <p>・年齢の発達過程を理解し、発達に沿った保育計画・指導計画を作成する</p> <p>・園の目標「子どもにやる気を起こさせる」教育・保育環境を用意し、人としての育ちを大切にすることを目指し、子どもの抱える課題のモデルとなるようもつとける</p>	

質の高い保育	1	1日の保育の振り返り・子ども分析	53%	67%
	2	保育の振り返りを次の保育に生かしていますか	51%	60%
	3	園全体の職員間で情報の共有化や保育について話し合っていますか	48%	55%
	4	子どもの発達課題や過程を理解していますか	49%	54%
	5	子どものやりたい気持ちからはじめ、体験を広げる実践と環境	50%	59%
	6	保育が子ども主体になっていますか。	55%	62%
		子どもをプラスの目で見えることを忘れない		
	7	自然に異年齢交流ができていますか。	46%	54%
	8	子どもとの気持ちをわかってほしい、会話の主導権は子どもに	56%	61%
		「うまくできたか」の結果より、プロセスで成長を振り返る		
	9	活動は①子どもが納得するまで継続	52%	58%
		活動は②子ども同士で共有を		
		子どもたちに達成感を味わえるような保育を心掛けていますか(自己充実)		
10	遊びは学びととらえ、遊びの中で育つものを見つける	57%	62%	
11	毎日 笑顔で子どもと接していますか	73%	74%	
12	子ども一人ひとりを見つめ、その子に合った援助をする	56%	60%	
13	支援の必要な子について組で話し合い、どのような支援するか手立てを考えている	55%	56%	
乳児保育	14	子どもの発達課題や過程を理解していますか	51%	54%
	15	健やかに伸び伸びと育つ保育（関わり）をしていますか	57%	60%
	16	身近な人と心が通じ合う保育（関わり）をしていますか	54%	57%
	17	身近なものとの関わり、感性が育つ保育（関わり）をしていますか	51%	55%
会議	18	会議の効率的な持ち方や進め方を考えていますか	47%	53%
	19	行事会議の中で昨年と少しでも変化のある内容になっている	44%	49%
改方き	20	時間のけじめをつけていますか	80%	80%
見える化	21	園での様子を保護者に丁寧に伝えている	61%	65%
	22	保育活動等写真を利用し見える化（記録の開示・一分間コミュニケーション）	51%	59%
	23	時間が長くないように一分間コミュニケーションをしている	56%	59%
研修	24	研修内容が保育に生かされていますか。	54%	58%



### グラフからみえる課題

- 「話し合い」「振り返り」が次の環境作り（設定）へと繋がっていない
- 情報共有中心の話し合い
- 異年齢交流の場（機会）が少ない

子どもについて「話し合う」ではなく「語り合える」集団を目指す



### R3年度の目標を

- 子どもの姿（発達）に沿った環境作り
- 子どもについて「語り合える」集団作りを目指す

### 具体的な取り組み

子どもと  
遊びこむ

保育ドキュメン  
テーションを使  
った園内研修

年齢別  
勉強会の実施

写真を使った  
保育分析（遊び  
の様子）

毎日10分の話  
し合い（保育の  
振り返り）

# R2年度 自己評価結果（給食職員）

## 市野与進こども園 自己評価

## 給食室平均

【目的】自己評価と多面評価を織り込む中で、給食の質の向上を目指す  
 【園目標】「子どもにやる気を起こさせる」教育・保育環境を用意し、「生きる力」の基礎を育てる

中間評価 年度末評価

市野与進こども園 給食職員像	
・ 開かれたこども園づくりに意識している人	・ 保護者支援に積極的に関われる人
・ 園の情報・個人情報に活用されている人	・ 研修・研究がしつかりと理解できている人
・ 保健安全指導が大切だと理解できている人	・ 食育の必要性が理解できている人
・ 行事対して園の役割が理解できている人	・ 子どもの健康を管理できる人
・ 保育についての子ども目線に立って理解できる人	

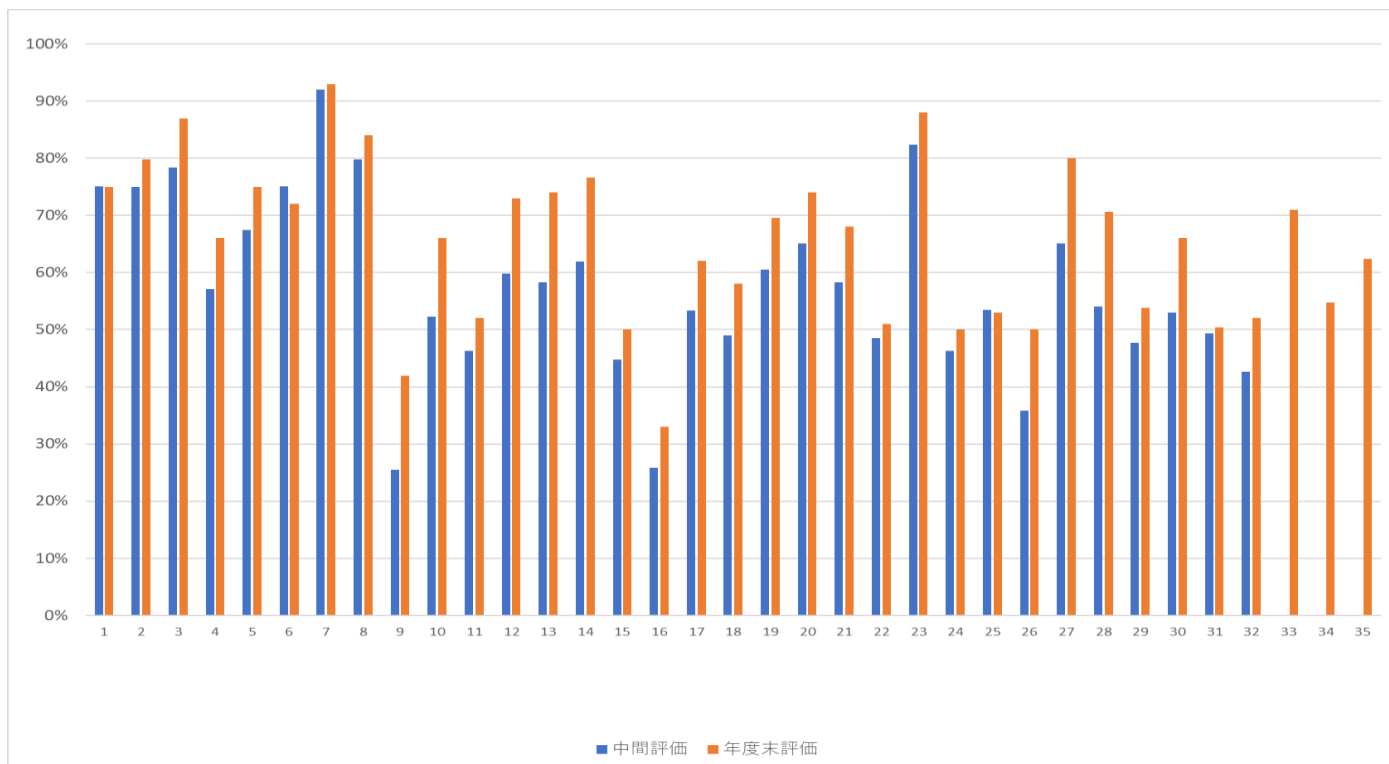
0%~20%  
できていない

20%~50%  
努力はしているが不十分

50%~70%  
努力をしてできている

70%~100%  
できている

項目	内容	中間評価	年度末評価
アレルギー疾患	1 アレルギー疾患のある子どもに対して、アレルギー対応ガイドラインを読んでいますか。	75%	75%
	2 アレルギー疾患のある子どもに対して、アレルギー疾患ガイドラインにもとに、子ども状況に応じた適切な対応をしていますか	75%	80%
	3 慢性疾患等のある子どもに対して医師の指示の下、子どもの状況に応じた適切な対応を行っていますか。	78%	87%
	4 保護者との連携を密にして、園での給食を提供していますか。	57%	66%
	5 アレルギー食を作る際、その日の担当決め、打ち合わせを密に行っていますか。	68%	75%
	6 配膳の際、誤食を避けるため、お互いに声をかけあいながら行っていますか。	75%	72%
	7 配膳プレートは、数人で確認し合っていますか。	92%	93%
	8 給食についての話し合いを給食担当者間でよくしていますか。	80%	84%
	9 アレルギー疾患、慢性疾患等についての研修会には進んで参加していますか。	26%	42%
	10 それぞれの役割を把握し、適切な動きができていますか。	52%	66%
食育	11 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫していますか。	46%	52%
	12 食器の材質や食材の形などに配慮していますか。	60%	73%
	13 個人差や食欲に応じて量を加減していますか。量を加減できるように工夫していますか。	58%	74%
	14 旬の物や季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしていますか。	62%	77%
	15 子どもが食について関心を深めるための取り組みを行っていますか	45%	50%
	16 家庭を巻き込んだ上で、マナーが楽しく身に付くような工夫をしていますか。	26%	33%
	17 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した献立・調理の工夫をしていますか。	53%	62%
	18 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握していますか。	49%	58%
	19 残食の調査を記録や検食簿にまとめ、献立・調理の工夫に反映していますか。	61%	70%
	20 季節感のある献立となるよう配慮していますか。	65%	74%
	21 地域の食文化や行事食などを取り入れていますか。	58%	68%
	22 調理員・栄養士等が給食の様子を見たり、子どもの話を聞いたりする機会を設けていますか。	49%	51%
	23 衛生管理の体制を確立し、マニュアルに基づき衛生管理が適切に行われていますか。	82%	88%
	24 給食がより良くなるために、積極的に保育教諭と連携を図っていますか。	46%	50%
研修・研究	25 実践研究に取り組み、日常の給食業務に活かし、子どもの育ちに反映させていますか。	54%	53%
	26 部内や部外の研修へは積極的に参加していますか。	36%	50%
	27 研修報告は必要に応じて職員間で共有・報告をしていますか。	65%	80%
	28 研修会に出席し、感じたこと、良いことは給食業務の中に取り入れていますか。	54%	71%
保護者支援	29 給食職員で、保護者支援ができるアイデアを考えていますか。	48%	54%
	30 HＰ・給食便り・地域支援等で給食室の取り組みを伝えていきますか。	53%	66%
情報発信	31 給食の展示などにレシピだけでなく、保護者が見てくれるような配慮をしていますか	49%	50%
	32 園内で行っている「地域支援」「子育て支援」の内容を理解していますか。(給食関係 以外で)	43%	52%
改善方針	33 時間のけじめをつけていますか		71%
会議	34 会議の効率的な持ち方や進め方を考えていますか		55%
	35 会議の中で自分の意見や考えを述べていますか		62%



## グラフからみえる課題

- 園児との関わりが少ない
- 保育室（保育教諭）との連携が不足
- 給食室主体の食育実践が少ない



R3年度の目標を「子どもが喜ぶ献立（給食）作り」  
「免疫力を高める給食作り」 とする

## 具体的な取り組み

免疫力 UP に  
繋がる食材を  
使った給食

子どもと一緒に  
食事する時  
間を増やす

給食会議の  
在り方を見  
直す（継続）